

新訂版教科書のご案内

平成31年度よりご使用いただける新訂版教科書（予定）を編修部がご紹介します。ご検討の参考にしていただければ幸いです。※教科書の見本は4月以降にご覧いただけます。

数学Ⅲ 新訂版 (数Ⅲ 317)



本書は大学受験を強く意識している生徒向けの教科書であり、豊富な例題とわかりやすい表現で構成し、見やすい紙面となるように改訂しました。

■特徴1 スリムな教科書

多くの学校で、3年次では大学入試の対策のために演習の時間を確保したいという要望があることから、必要な学習要素は減らさずに、冗長であった部分の記述の見直しなどを行い、総ページ数を削減いたしました。

改訂前 288 ページ→新訂版 280 ページ

(8ページ減)

■特徴2 学びやすさ・教えやすさに配慮

「例」には適宜端的なタイトルを太字で記し、学ぶ内容がわかりやすいようにしました。

また、苦手意識をもつ生徒が多い「平面上の曲線」では、図を豊富に掲載しました。特に、p.60のサイクロイドにおいては、理解しやすく詳しい拡大図を載せました。

加えて、囲みで記した公式以外でも、重要なことがらをオレンジの色アミで強調し、メリハリのある紙面を心掛けました（例えば、p.152, 153）。

■特徴3 生徒の知的好奇心を刺激する題材

章扉では、その章の学習内容に深く関連する数学者とその数学者にゆかりのある大学の写真を載せました。また、適宜「コラム」で興味深い話題を取り上げました。例えば、p.74でサイクロイドの性質を、p.90で関数の語源を掲載しました。

加えて、巻末のp.257～270の「数学の道」や後見返しでは、より発展的な内容を載せたり、数学の世界がどのように広がっているのかを紹介したりして、大学での学びへの動機づけとなるようにしました。

新版数学Ⅲ 新訂版 (数Ⅲ 318)



本書は、基本的な内容から発展的な内容まで段階を踏んで学べる教科書であり、多様な生徒の実態に幅広く対応できるように改訂しました。

■特徴1 丁寧な説明

段階的に学習を進められるように、学習内容はスモールステップで記述し、生徒がつまずかないように配慮しました。例えば、p.38の2次曲線の導入では、「数学Ⅱ」で学んだ「図形と方程式」の「軌跡」の復習を扱い、スムーズに「数学Ⅲ」の学習に入れるようにしました。

■特徴2 生徒の自学自習に配慮

全体を通じて図を豊富に掲載し、学習内容が視覚的にわかりやすいようにしました。例えば、p.13やp.14などの「複素数の極形式」では、度数法で角度を示した直角三角形を併記して、弧度法に苦手意識を持っている生徒に配慮しました。p.169の応用例題では、3つの図を載せて、問題の条件を視覚的に理解できるようにしました。

また、各内容の導入は可能な限り具体例で記述し、その後の一般論や公式にスムーズにつながるようにしました。

■特徴3 多様な生徒に対応

例題を「例題」と「応用例題」の2種類に分け、学校や生徒の実態に合わせて選択的な授業が可能となるようにしました。また、「参考」「研究」「発展」を適宜載せ、学習をさらに深めたい生徒が自主的に取り組めるようにしました。例えば、p.237の研究「部分積分を2回使う定積分」では、「トライ例題」として2つのタイプの問題を取り上げ、授業でも解説しやすいようにしました。もちろん、他の「参考」「研究」「発展」も、授業で扱うことができるように記述してあります。